

【JUASラボ】 運用者向け課題・問題解決の手法～目的ベースで捉え、本質を見抜く～

【会場】 (4724006)

JUASラボは、日々の業務改善やイノベーションにつながる「ヒントの引き出し」を増やしていただく場です。情報の受け取りだけではなく、ご参加いただくみなさまからのフィードバックやこの場で生み出された知見が、JUASのコミュニティやセミナーの誕生につながり、またみなさまに循環し活用していただくことを目指しています。今回は、みなさまの日ごろの業務の中で抱えておられる問題・課題や、お悩みの解決にご活用いただければと思います。

開催日時	2024年12月12日(木) 13:00-17:30会場 2024年12月19日(木) 13:00-17:30会場
講師	木村恵己 氏 (E N E O Sシステムズ株式会社 サービスマネジメント研究会 部会長)
参加費	J U A S会員/ITC : 3,000円 一般 : 3,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み)
会場	※2024年4月より移転しました※一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (NBF東銀座スクエア2F)
対象	システム運用を担当、管理されている方で同テーマに関心のある方 2回通しで参加することができる方 初級
開催形式	講義、グループ演習
定員	20名
取得ポイント	※JUASラボはITC実践力ポイント対象セミナーではありません。

主な内容

■受講形態

会場のみ (オンラインなし)

■テキスト

後日共有

■開催日までの課題事項

特になし

サービスマネジメント研究会主催のJUASラボを開催します。

みなさまの日ごろの業務の中で抱えておられる問題・課題や、お悩みの解決にご活用いただければと思います。

「課題解決の手段をあれこれ考えてみるが、どれが良いのかわからない。もっと他のやり方があるんじゃないか？」

「他社の事例を聞いてもなかなか自社にはあてはめられない。」

といったお悩みや疑問をもっていらっしゃると思います。

真の目的の捉え方、様々な着眼点の持ち方等を事例紹介を通して学んでいただく中で、気づきを得ていただければ幸いです。

また、他社事例の聞き方についても講義の中で取り上げ、その手法を解説いたします。

尚、トレーニングの際はデザイン思考をベースにした少人数のグループワーク形式で行います。

【ご参加いただいた方のご意見】

- ・社内で同様の研修を受けたことはあるが、社外の方からの新しい発想に触れられてとても良かった。
- ・原因分析(なぜなぜ分析)はこれまでやってきて、目的に照らして考えることもやってきたつもりだが、手段ベースでの発想だったことと目的を考える意味に気づいた。
- ・視座を高くすることで、様々な着眼点が見えてくることに気づけた。

【トレーニング内容とスケジュール】

1回目 ; 12月12日 (木) 13:00~17:30

- ・ユーザーの抱える真の課題を見定めるにはどうすればよいか？
- ・それって何の為にやってんの？ そのそもその目的をどうやって見つけるのか？
- ・目的と理由の違いとは？

- ・課題解決手法となぜなぜ分析の違いとは？

2回目；12月19日（木） 13：00～17：30

- ・「システムを止まらないようにするにはどうすればいいか？」といった、運用業務にかかわる困難な課題を解決するには？
- ・良い解決手段を見つけるにはどうすれば良いか？
- ・なぜ他社事例を聞いても役立てられないのか？

※本ラボは、研究会内で実証したトレーニングを広く会員の方にも実践していただくものです。